

令和 7 年度 市政懇談会 ゆかり市長とまちかどトーク 議事録要旨

開催日時・会場・参加人数

開催日時 令和 7 年 7 月 29 日(火) 19 時から 20 時 31 分まで

会 場 諏訪市役所 大会議室

参加人数 会場:20 人／配信:42 人(最大)

意見交換

■未来創造ゆめスクールプランについて／情報公開請求について

【発言者】

「未来創造ゆめスクールプラン」は、単に施設(箱)を作るだけでは不十分であり、教育の中身(ソフト)が重要だと考えている。

教育委員会が組織として機能しておらず、職員個人任せになっていると感じる。組織として対応すべき。そう感じた例として、①コミュニティスクール関連の情報公開請求をしたところ、文部科学省の方針に沿った資料が出てこなかった。②資料が示されなかったので審査請求を行ったが、半年以上返答がない。また、教育委員会の工程表にも記載がないとのこと。③教育長宛てに手紙を送ったが 7 か月以上返事がなく、複数の部長に働きかけた結果、ようやく「検討中」との口頭回答が得られた。また、手紙の返信を受け取ったが「検討中」とのことだった。

組織として仕事をしないと、未来創造ゆめスクールプランが機能しないのでお願いしたい。

【副市長】

教育委員会からは「検討中」と返答をしているため、改めてご意見をいただいたことを受け止めた。

【教育長】

ご意見をいただいていることは承知している。先日も手紙をいただいたが、組織の中で検討して返事をするにしている。これまでも組織として対応すること、工程を明確にして取り組むべきとご意見をいただいているが、ご意見をいただいた事業に限らず検討している状況。各事業は様々な工程の中で行っているので確認し、必要なことをお伝えする。

■公共交通の再編について

【発言者】

公共交通の再編計画の案を見たところ、かりんちゃん子バスがなくなる。平日はチョイソコかりんちゃんの運行があるが、土日は運行がないため、公共交通機関を利用することができなくなる。土日に公共交通が利用できなくなる地区が発生することについて、市の責任として疑問を感じる。地域公共交通の集約化は、時代の流れとともに仕方がないことで、踏み込まなければならない部分があると理解するが、家族が土日の外出にバスを利用

しているため、路線が減り、家族が送迎をせざるを得ないと思っている。説明会に出席し、理解を深めたが、公共交通機関を利用できない地区が生じることについてどのように考えているかお聞きしたい。

茅野市は、バスの路線を大幅に見直したが、「のらざあ」が土日も運行している。諏訪市も土日の移動手段を確保していただきたい。

【市長】

一部の定時定路線のバスは、継続して運行する予定。利用者は、従来とは異なるバス停を使うことになるかもしれないが、移動手段を確保できる可能性がある。

実証実験で土日の運行をした。利用者数は、平日の約 3 分の 1 であり、その中でどれだけの人が代替手段で移動できるかを見極めたい。それでも移動が困難な人への対応は、現在パブリックコメントを募集中であり、意見を集めた上で検討する。平日と同じサービスを提供しなくてもカバーができるかどうかなどを分析しながら、今後の対応を考える。

諏訪市の公共交通に年間で約 1 億円の費用がかかっており、7,000 万円程度に収めることを目標としている。そのために、AI オンデマンド交通を導入するという発想に至った。

土日の運行も必要な部分には対応すべきと考えているが、空のバスを走らせるよりも効率的なサービスの提供をしなければならない立場である。今後も市民の意見や知恵を取り入れながら、より良い交通サービスのあり方を検討していく方針。

■住居費の支援について

【発言者】

約 100 人の学生が在籍する学校で、卒業後は、約 8 割が地域の中核病院に就職して地域医療を担うとともに諏訪市民として生活をする、地域にとって重要な教育機関であると認識している。

諏訪地域はアパート代が高く、松本・伊那方面から 1 時間以上かけて通う学生もいるため、住居が安く借りられることで入学希望者の増加が期待できると考えている。空き家の活用などによる住宅支援の取組が進められているが、20 歳前後の学生に対する今後の具体的な支援の予定があるか伺いたい。

【市長】

日ごろから様々なイベント等に参加していただき、活力を与えてくれる学生が通う大事な学校だと認識している。現在は、住居費の支援策がないが、要望をいただいたので持ち帰り、検討したい。

■市民の取組について

【発言者】

人口減少は、受け入れなくてはいけないことと理解している。市長からハード面の話は

あったが、福祉や介護などの社会保障も厳しいと思う。人口減少が進む中、市民としてやらなくてはならないことは何か？

【市長】

健康や介護に関する知識を持って実践することで健康長寿につながる。自分自身の健康を守ることで、人手不足の時代に医療や介護の人材・サービスが本当に必要な人に行き届くことになるので、自分の健康を守っていただきたい。

■意見・提案等への回答について／少子化に関する市の事業の具体的な取組について／説明会等の周知について

【発言者】

市民からの意見等への返答の期限や具体的な対応が示されない。「検討します」で終わるのではなく、期限を区切って具体的に返答すべき。

公共交通機関の利用率の低下も少子化や人口減少の影響があると思う。少子化対策など、市の事業の具体的な取組内容を示してほしい。また、コンパクトシティ構想が分かりづらい。言葉だけが先行しているように感じるので市民に分かりやすい説明をしてほしい。

チョイソコかりんちゃんの説明会が開催されたが、周知が不十分。説明会を実施したという既成事実を作りたいだけのように感じる。開催の直前の周知であったため、参加者が少なかったので多くの市民の参加を促す工夫が必要。行政だけでは課題解決は難しく、市民との協力体制が不可欠。

【市長】

市長へのがみやメールでいただいた意見等には、必ず目を通して概ね 2 週間で返事をする事になっているので、そのように対応する。初めていただいたご意見や困難な事案は、一律に答えられないものやすぐに答えが出ないものがあるのでご理解をいただきたい。

国は、子ども家庭庁を発足させ、子育て支援に力を入れているが、少子化対策と子育て支援はイコールではないと思っている。生まれた子に対する補助はありがたいが、補助が増えたから出生数が増えるとは限らない。人生設計に夢を描けなければ結婚・出産に踏み切れない。収入格差の拡大などに対する施策は、地方自治体ではなく国で取り組むべき課題。

また、女性の社会進出が進む一方で、家事の負担の不均衡が続いているため、応分の負担をする必要がある。そのために働き方改革が必要。また、気持ちよく休暇が取得できる、チームで仕事をするなどの職場環境の改善が必要。子育てに対する不安や負担を減らし、周囲の支援を得ながら子育てできる環境づくりが重要。

チョイソコかりんちゃんは、説明会を開催したが、会員登録の方法や予約の方法について、問い合わせをいただくことがある。まだ十分に浸透していないと認識している。市役所に来庁をいただくほか、呼んでいただいて説明会を開催したり登録のサポートをしたり

することもできるので活用していただきたい。

■地区の温泉について

【発言者】

諏訪の自然と温泉に魅力を感じている。温泉は、貴重な資源。入浴だけでなく、地域のコミュニティであり、顔見知りであることが地域の安全に寄与している。医療や福祉といった専門的な職業だけで守り切れない、住民同士の安全がある。小さなコミュニティだからこそ、諏訪に暮らしたいと思う。全国的にもユニークな資源である地区の温泉だが、市の施策の中であまり重要視されていないように感じる。どのような位置づけか。

【市長】

地区の温泉は、銭湯とは異なる共同温泉で、運営は地区が自主的に行っている。諏訪市は、温泉の供給をしている全国的にも珍しい自治体だが、運営に苦慮している温泉の組合があることも承知しており、水道局で対策を検討している。温泉は、水に比べて管の腐食が進みやすいことや下水道を維持するためのマネジメントも行う必要がある。温泉は天与の恵みであり、その資源を有効に活用できるかが大事だと思っている。また、子育て、介護、災害などでコミュニティの力を発揮している事例があるので、地域のコミュニティとしても大切だと認識している。具体的な提案などがあればお寄せいただきたい。

■市政懇談会の開催について

【発言者】

市長と直接やり取りができる市政懇談会を評価するが、市民の課題は四季に連動すること(台風、雪など)があるので年に4回開催してはどうか。

市政懇談会にYouTubeを活用している点も良いが、会場の参加者と配信の視聴者を合わせても50人ほどで、諏訪市の人口の0.1%程度に留まるので地元のケーブルテレビ局などを活用してもっと周知をしてはどうか。伝えたいことがある市民は多いと思う。

市政懇談会に参加するため来庁したところ、18時25分時点で正面玄関が開いておらず、夜間通用口に回る必要があった。

【副市長】

市政懇談会は、過去には地域の公民館で開催していたこともある。現在では、様々な情報伝達手段が発達したこともあり、市政懇談会の参加者が減少してきたため、今年度は試行的に開催方法を変更した。回数を増やすというご意見をいただいたので、今後の開催の参考にしたい。正面玄関の開放はご迷惑をおかけし申し訳ない。

■チョイソコかりんちゃんについて

【発言者】

チョイソコかりんちゃんの導入によって利便性が向上することに大きな期待感がある。

一方で、利用するために予約というひと手間がかかること、これまでのバスと比較して料金が増額になることで負担にならないか心配がある。公共交通の利用料の値上げが観光客数及び観光消費額の減少に繋がりがねないと危惧している。市長の見解を聞きたい。

【市長】

高齢者と障がい者のチョイソコかりんちゃんの運賃は半額の 250 円としている。プリペイドカードを購入するとお得になるのでお勧めしている(2,500 円分のプリペイドカードが 2,000 円で購入できる)。バスより時間をかけずに目的地に到着することができ、タクシーほどの利便性ではないが、タクシーとバスの中間のサービスとしての利用を進めている。

■不妊治療と産後の職場復帰への支援について

【発言者】

女性が子どもを産みたいと思えるよう、不妊治療と産後の職場復帰に対する支援をお願いしたい。

【市長】

不妊治療や不育治療は市で実施しており、健康推進課で相談を受け付けている。産後の職場復帰の支援は、徐々に充実してきていると認識しているが、企業のモデルになる責任があるので、市が積極的に取り組みたい。具体的な提案などがあればお寄せいただきたい。

以上